

今週のセルグループ (赤字)		8月23日(日)~8月29日(土)	
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル 北山姉	毎日曜日 礼拝後	LINE 電話	8/16 2名 自分の問題に面と向かいなさい、主にある喜び平安を求め受け取りなさいと言われていました。
グレイス 鈴木千姉	8/28(金) 午後8:30	鈴木宅	8/14 3名 旗色を鮮明にしなさいと語られた。
Gospel 鈴木尚姉	8/29(土) 午後1:00	鈴木尚宅	8/2 2名 大好きなお父さんである神様を見上げるだけ。愛されている。他のことはどうでもいい。
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	8/16 9名 全ての出来事は恵みである事。私を祝福してくださいのために起こして下さっている事。
からし種 磯貝姉		LINEで 分かち合い	8/16 3名 家事育児仕事すべてが礼拝だと思って愛を持って過ごしたいと思います。
ユース 岩下兄	8/30(日) 午後1:00	LINE 電話	8/9 5名 主に希望をおいて生きることを示されて慰められた。
Rock 鈴木洋兄	9/2(水) 午後8:30	鈴木宅	7/29 4名 いつも主が自分の仕事振りをご覧になられている。意識する時、手を抜こうから守られる。
シャローム 平岩姉	9/12(土) 午前10:00	平岩宅	8/8 3名 お互いのために祈りあいました。
なつめやし 高橋智姉	8/30(日) 練習後	高橋宅	8/16 6名 主のことを伝える目的で始めた親睦会だったのに、目的がすり変わっていた。
リジョイス 杉本姉	9/1(火) 午前10:15	赤塚宅	8/4 2名 主を敬う心があるのは、大好きであるから。
ジョイフル 穂刈兄	9/3(木) 午後9:00	Zoomで 分かち合い	8/6 5名 痛みの中で祈る機会が多くなり感謝します。
アガベ 長塚姉	8/23(日) 練習後	コミュニティ センター	8/9 4名 交わりの時を持ちました。
サクセス 鈴木勝兄	8/23(日) 礼拝後	交わり	8/9 10名 自分を変えて認められようとしていた。祈禱会で求めていた答えが与えられて変えられた。
リーダーズ セル	8月はお休み	Zoomで 分かち合い	7/8 21名 一人一人のためにお祈りしました。
セル研修	休講		
ビジョン 平岩恵兄	毎日曜日 午後1:00	コメダ	8/16 4名 愛せない者だけれど、愛したいと思うことが大切だと示された。
worship 長塚寛兄	中止		
中学生 梅田姉	中止		
キッズ2 小山姉	中止		
キッズ1 芳井姉	中止		
Shine 小原姉	9/12(土) 午後6:30	エステル	8/8 3名 神様が必ず前進させてくださると信じて進んでいきます。
ギデオン 芳井兄	9/12(土) 午後6:30	芳井宅	8/8 3名 主に信頼していなかった。それをはっきりと悔い改めた。
カルバリ 野田兄	9/1(火) 午前9:00	野田宅	8/4 5名 聖書を読んだり、祈っていれば信仰があると勘違いをして生きていた。
神の家族 伊岐見真姉	8/23(日) 午後7:30	LINE 電話	8/9 2名 本当にやりたくなかった。今はやりたいことに変わっています。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈禱会	
		司会	奏楽		奏楽
今週	8/23 (日)		鈴木尚姉	8/27 (木)	鈴木尚姉
		開始時間 午前10時			
来週	8/30 (日)		鈴木千姉	9/3 (木)	鈴木千姉
		開始時間 午前10時			

祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
 - ▶家族知人をキリストへ
 - ▶教会近隣の人々の救い
 - ▶東海地方の救いのために
 - ▶日本の救いのために
 - ▶世界の救いのために
- ・働きを覚えて
 - ▶バイブルスタディの働き
 - ▶リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶リバイバルママズの働き
 - ▶那古野アウトリーチの働き
 - ▶祈禱会の祝福
 - ▶日曜礼拝の祝福
 - ▶牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
 - ▶LIG人生変革グループの祝福
- ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜)	(第一) 午前 9:00~10:30 (第二) 午前11:00~12:30
キッズセル(子供礼拝) (日曜)	午前 9:00~10:30
日曜礼拝バイブルスタディ (日曜)	午前11:00~12:30 ☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ (第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00~ 2:30 (夜) 午後 7:00~ 8:30
祈禱会 (木曜)	午後 7:00~ 8:30
特別早天祈禱 (土曜)	午前 6:00~ 7:00



主の御手 週報 NO.1309

2020年8月23日(日)発行 8月第4週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、(使徒の働き11:21) 大ぜいの人々が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始10時

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧になってどうぞ。)
- ・自由献金 (本日は、プレーヤーハウスのための献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・連絡

お願い

- (1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
- (2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄りをお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ [感謝] すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたに望んでおられることです。(テサロニケ人への手紙 第一5章18節)

日曜日は教会へ

主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝



主は避け所

「詩篇91：1-2 いと
高き方の隠れ場に住
む者 その人は 全能
者の陰に宿る。私は
主に申し上げよう。
『私の避け所 私の砦
私が信頼する私の
神』と。」

木陰の涼しさ

数年前、ある観光地でロープウェイに乗り、小高い山の上に登りました。初夏の頃で天気もよく、景色は素晴らしかったのですが、日差しが暑くてゆっくり眺めていられず、早々に大きな木の木陰に入りました。そしてそこにあったベンチに腰をかけたら、そこは別世界のように涼しく、その温度差にびっくりしました。木陰を一步出るとまた元の暑さですから、この大きな差はなぜなのかと、とても印象に残りました。それまでそれほど日陰を気にしていませんでしたが、それ以来意識して、暑いときはできるだけ、日陰が多くある道を選んで歩くようになりました。

木陰はなぜ涼しいか

多くの人は暑さは気温で決まると思っています。しかし日向

(ひなた)と木陰では、気温はほとんど変わらないそうです。暑さや涼しさは、気温のほかにも湿度、風速、放射(日射や地面からの赤外放射など)が影響します。もちろん、どんな服装をしているかや、どれだけ体を動かしているかも影響します。木陰は日射をさえぎり、人に直接あたる日射を減らします。さらに地面に日陰を作り、地面の温度が高くなるのを防ぎます。木陰によって日射の約8割、地面からの赤外放射の約6割が減少して、体感温度が約6℃下がるそうです。そう知ると、木陰が涼しいのもわけがわかります。今年の夏は、コロナ禍でマスクをはずせない上に猛暑日が続き、あちらこちらから熱中症に注意するようにと叫ばれていますが、そんな中で木陰などの日陰は、人を暑さから守り、保護してくれるのに有効な場所となっているでしょう。

御翼の陰

「木陰」と聞いて聖書の中で思い出すのは、創世記でアブラハムが、暑い日にマムレの樫の木の下で三人の旅人をもてなした場面や、神様が、預言者ヨナの機嫌を直すために、とうごまをヨナの上をおおうようにして生えさせて、太陽の灼け着くような日差しから彼を守ろうとされた場面ですが、「陰」ということばは聖書では、「保護する」という意味でよく使われています。

たとえば詩篇には、「御翼の陰」という表現が幾度も出て来ます。「私をあわれんでください。神よ。私をあわれんでください。私のたましいは あなたに身を避けていますから。私は 滅びが過ぎ去るまで 御翼の陰に身を避けます。(詩篇57：1)」この詩篇の作者ダビデは、四六時中敵から命をねらわれているという苦悩の中にいましたが、まるでひな鳥が親鳥の翼におおわれて守られているように、天地を作られた神様が苦悩の中にある自分をおおってくださり守ってくださると確信して、神様に切に訴える祈りをささげています。

その昔、神様はイスラエルの民と契約を結んでくださいました。もし彼らが神に従うならば、祝福するという約束です。(申命記28：1-14)ダビデはどんな苦難のときも神様に全面的に信頼していましたが、必ず祝福を得るという確信を得ていました。そして今日、神を信じる私たちもまたこの約束にあずかることができます。

主は避け所

神様は私たちの避け所です。冒頭のみことば、「いと高き方の隠れ場に住む者 その人は 全能者の陰に宿る。私は主に申し上げよう。『私の避け所 私の砦 私が信頼する私の神』と。」の「隠れ場に住む」とは、神様の守りの下に留まり続ける、ということ

です。私たちが毎日自分の家に帰るように、何があっても神様に戻って行くなれば、神様が保護してくださるといことです。

私たちが何かを為し遂げようとするとき、私たちが惑わすのは、絶えず話しかけて来る、私たちの心の中の敵のことばです。敵は、「お前のような罪人が幸せになれるはずがない。」「お前は役に立たないから価値がない。」などと言って来ます。私たちが苦しむのはこの敵のことばに惑わされるからです。しかし神様のみことばは、「あなたの罪は赦された。(マルコ2：5)」「安心して行きなさい。(マルコ5：34)」であり、「わたしの目には、あなたは高価で尊い。(イザヤ43：4)」です。私たちはまるで炎天下で木陰に身を避けて涼むように、神様のみことばに身を避けて、安心して生きることができるのです。

生活の中で私たちが悶々とするとき、たった一人でもわかってくれる人がいれば、たった一人でも賛成してくれる人がいれば、勇気づけられ、また立ち上がる力を得ることができます。神様は私たちの苦しみのすべてを知っておられる方です。ですから困難の中で、私たちはこのお方に助けを求め、このお方のみことばだけを聞き、このお方に全面的に信頼して歩んで参りましょう。